

株主の皆様へ

第64期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

証券コード：6155



写真：石川の名峰白山に自生する高山植物「ハクサンコザクラ」

OUR CHALLENGE TO 2027

新たに策定した「中期計画2027」の実現に向けて、
経営基盤の強化をはかりながら、
業績向上への挑戦を続けてまいります

代表取締役社長 高松宗一郎



Q 第64期(2025年3月期)の振り返りをお願いします。

A 当社グループの主力分野である工作機械業界では、ウクライナ、中東などの情勢不安、中国、欧州での景気低迷、及び世界的な物価上昇と米国の通商政策の不透明性により、主要取引先である自動車業界の設備投資が伸びず、受注環境は厳しい状況が続きました。その結果、通期の受注高は119億12百万円(前年同期比17.6%減)、売上高は138億93百万円(同2.1%減)となりました。

そのような中でも当社は次期につなげるための取り組みとして、工作機械事業において、生産面では、生産設備の更新による生産の効率化と品質向上に向けての投資を積極的に行ってきました。

製品開発の面では、省人化、省スペース、環境への配慮など市場のニーズを追求したXTL-8シリーズ3機種を開発・発売し、

周辺機器では搬送装置やロボティクス分野での開発に注力するなど、工作機械+αの要望に対応できるように着々と足元を固めてきました。

販売面では、主力の自動車関係企業との取引継続と拡大に努め、同時に自動車関係以外の分野への提案営業も積極的に取り組んできました。

IT関連製造装置事業では取引先の拡大へ積極的に取り組み、着々と取引の裾野を拡げてきました。

Q 第65期(2026年3月期)の見通しと、
業績改善のための取り組みを教えてください。

A 米国トランプ政権による関税政策の強化など、国内外の情勢は依然不透明な状況ですが、当社は第64期の業績における反省を踏まえて、情勢の変化に左右されず、しっかりと黒字となる体制づくりに挑戦していきます。後述の新しい取り組み

においてもふれていますが、今期からスタートする新中期経営計画においては、達成すべき指針をより具体化しており、それを着実にクリアすることで業績を向上させて黒字化を目指します。

初年度である第65期では、売上高を152億87百万円、営業利益を1億38百万円、経常利益を1億33百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を84百万円と計画しています。

業績改善をはかるため、次の6つのテーマに取り組みます。経営基盤の強化として、価格決定プロセスの見直しを行い、顧客ニーズや市場動向に応じた価格決定を実現します。営業体制の強化として、国内外の市場分析を基にターゲットを明確化し、提案型営業を推進します。全社バリューチェーンの最適化として、調達から製造、販売に至るまでのプロセスを一貫管理し、無駄の排除と効率向上をはかります。データの一元管理化として、

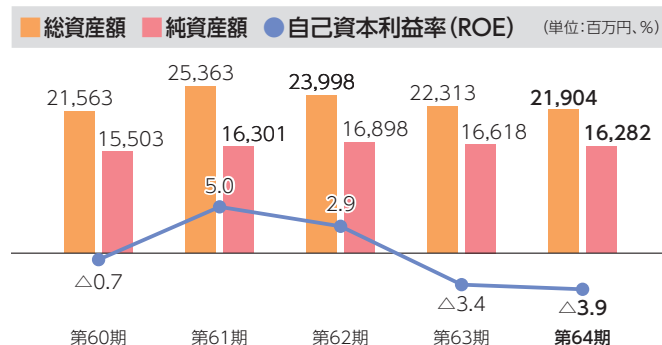
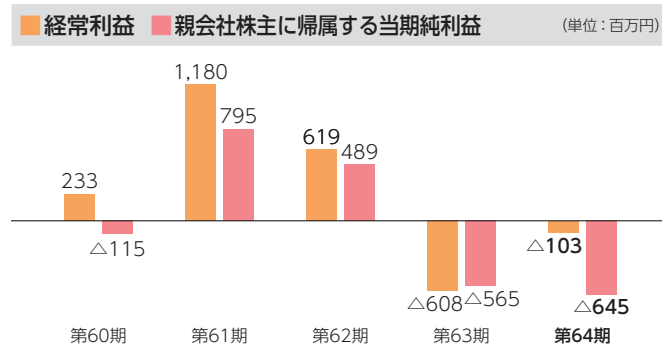
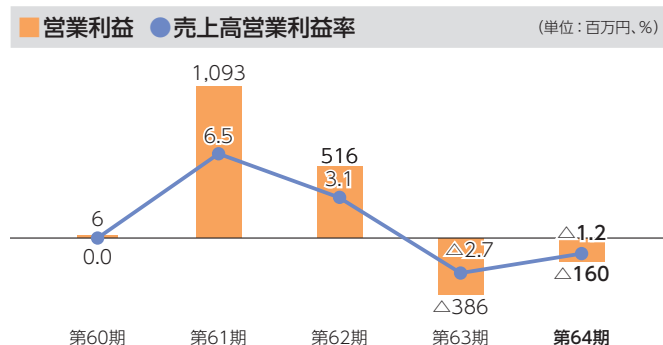
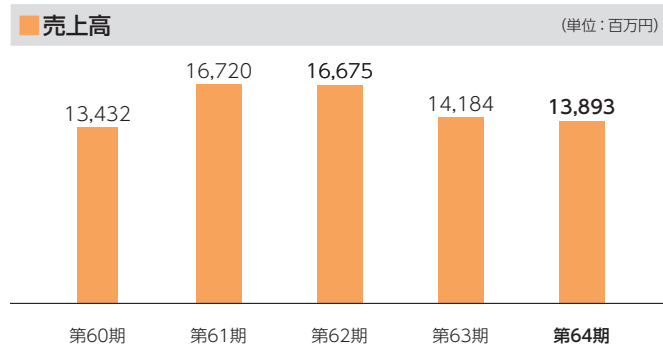
各部門間の情報共有を迅速化し、意思決定のスピードを向上します。人的リソースの最適化として、スキルマッチングや研修を通じて社員の能力向上をはかります。コスト削減として、収益インパクトのある削減策を検討・実行するとともに、前述した各テーマの実施効果を必要な成長投資に配分します。



第65期に開始する取り組みについて教えてください。



第65期を迎えるにあたり、社員と会社が同じ目標に向かって行動するための座標軸である「ミッション・ビジョン・バリュー(MVV)」, 当社の目指す姿、ありたい姿である「長期ビジョン」、当社が今期より3力年で具体的に取り組むべき計画である



「中期計画2027」を策定しました。

まず、MVVについてですが、今般の当社を取り巻く経営環境が大きく変化する中で、改めて当社の向かうべき方向について明確に定め、社員全員がその方向に目線を合わせて活動していくことが大変重要になってきました。当社には社会に貢献するという経営理念の下、モットーやスローガン、長期コミットメントなどの指針がありましたが、今回はそれらを一度見直し、より分かりやすい形に整理したものがこのMVVです。社員にとって日々の活動の動機となる考えであるため、広く社内に浸透させていきます。

次に、長期ビジョンについてですが、私たちは「自動化技術と複合加工技術で、お客様のモノづくりを支え続けるグローバル・ソリューション・カンパニー」を目指していきます。今後も工業製品の生産において1台で何役もこなせる機械のニーズが高まっていくものと推測され、自動車のみならず様々な分野、国内外の様々なエリアで求められます。私たちはそのような事業環境におけるニーズへ迅速に対応できるよう、事業ポートフォリオ、組織・人材などの見直しや、IoTやDXなどの取り組みを柔軟かつ迅速に進め、企業体質を強化していきます。

最後に、中期計画2027ですが、これは上記の長期ビジョンを達成するための最初の3カ年計画という位置付けとなります。

2026年3月期連結業績予想

売上高 152億87百万円 (前年同期比 10.0%増)

営業利益 1億38百万円 (前年同期は1億60百万円の営業損失)

経常利益 1億33百万円 (前年同期は1億3百万円の経常損失)

**親会社株主に帰属する
当期純利益** 84百万円 (前年同期は6億45百万円の
親会社株主に帰属する当期純損失)

「経営基盤強化と成長戦略の実行による収益性の改善」を基本方針として掲げ、黒字化の実現と中長期的な成長に向けた「全社改革」に取り組みます。

今期新たに策定したこれら3つの取り組みは、これまで培ってきたことを踏まえて当社がより「進化」するための第一歩であり、全社一丸となって挑戦していきます。

MVV、長期ビジョン、中期計画2027については、5～6ページの特集でとりあげていますのでご覧ください。



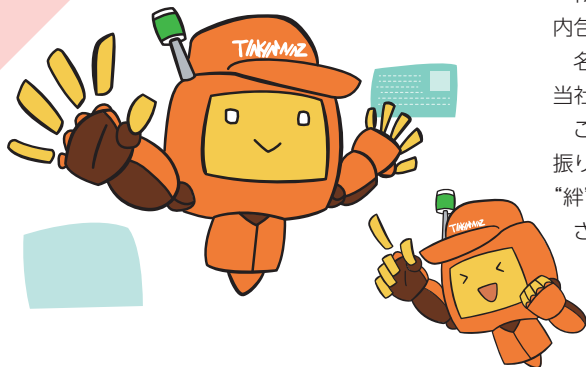
株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 私たちの事業環境は、世界情勢によって大きくかつ短期間に目まぐるしい変化にさらされています。このような状況においても継続的に利益を計上し、安定的な株主還元を実現できるように取り組んでいきます。今回策定したMVV、長期ビジョン、中期計画2027はそのための根幹施策であり、「次につながる取り組みを積極的に行うこと」で経営基盤を着実に固め、目指す姿・ありたい姿の実現を目指します。

第64期の配当は年間10円(中間5円、期末5円)としました。中期計画2027の期間中(第65期～第67期)の株主還元方針は前述の取り組みにより、下限として1株当たりの年間配当額10円を維持し、安定的な配当水準を維持するとともに、配当性向40%程度で設定して、業績の回復、利益の増額にあわせて株主の皆様への還元額を増加させていく方針とします。

私たちは、当社を応援いただく株主の皆様の期待に応えるべく、様々な施策を確実に実行することで企業としての進化を果たしてまいる所存です。どうか今後とも変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

当社公式キャラクター 「たかま〜る」誕生！



当社に、新たな仲間が誕生しました。その名も——「たかま〜る」！
この「たかま〜る」は、社内公募によって集まった55作品ものの中から選考を経て選ばれた、当社の公式キャラクターです。

「たかま〜る」は、その愛らしいルックスの中に、当社の技術力と情熱をしっかりと内包。フォルムの丸みからはお客様に寄り添う柔らかさとも兼ね備えています。

名前は、上昇イメージの「高まる」と、良い丸く収めるの「〇」が由来となっており、当社の製品を使って気持ちを高めてほしいという願いが込められています。

これから「たかま〜る」は、皆様のもとを飛び回り、時には展示会でスマイルを振りまき、日本の、そして世界のモノづくりを応援いたします。皆様と我々の“絆”をつなぐ存在として、どうぞご愛顧ください。

さあ、次はどこで「たかま〜る」が活躍するのか…どうぞご期待ください！

当社ホームページでプロフィールを紹介しています。
ぜひ、ご覧ください。



XTLシリーズの最新機種 XTL-8MYS発売！



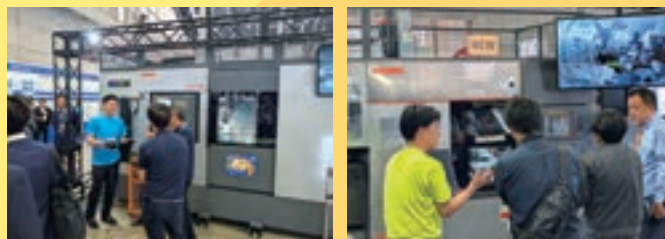
今春、これまで継続的にリリースしてきたXTLシリーズ最後の機種「XTL-8MYS」がついに発売となりました。

XTLシリーズは、EV、HV、ガソリン車などの自動車や産業機械に使われるシャフトをはじめ「長い部品」の加工が得意な機種ですが、この「XTL-8MYS」は、新たに「背面加工」の機能を追加した仕様の機械となっております。

通常、自動車のシャフトはその両端を加工する必要がありますが、近年はそれを含めすべての加工を1台で行える機械のニーズが増加傾向にあります。そのニーズに応える機械が「XTL-8MYS」です。背面加工によってシャフトの両端を切削加工することができるため、この1台で完成品を作製ことができ、工場スペースや人手不足に悩むお客様のニーズに応えます。

3機種がそろったXTLシリーズは、国内外に向けて幅広く展開していきます。

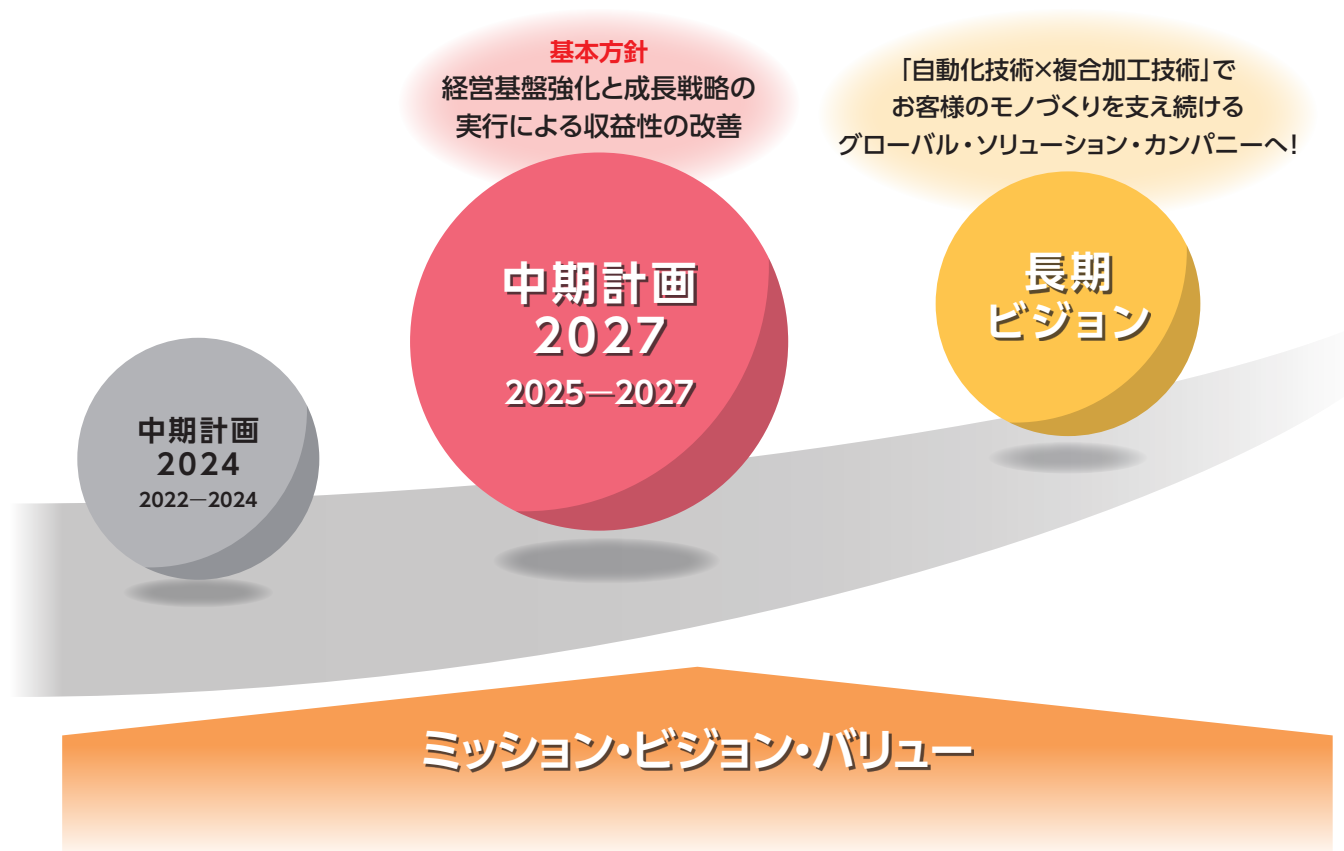
MEX金沢2025に出展しました！



TAKAMAZの「ミッション・ビジョン・バリュー (MVV)」、 「長期ビジョン」、 「中期計画2027」を紹介します!

当社はこの度、企業としての継続的な発展を見据えて新たに「ミッション・ビジョン・バリュー」、「長期ビジョン」、「中期計画2027」を策定しました。これらは当社社員全員が目線を合わせて目標に向かって進むための羅針盤であり、企業として一段進化を遂げるための大きな取り組みと位置付けています。

こちらでは、これら3つの取り組みの考え方や目標などを紹介します。どうぞご覧ください。



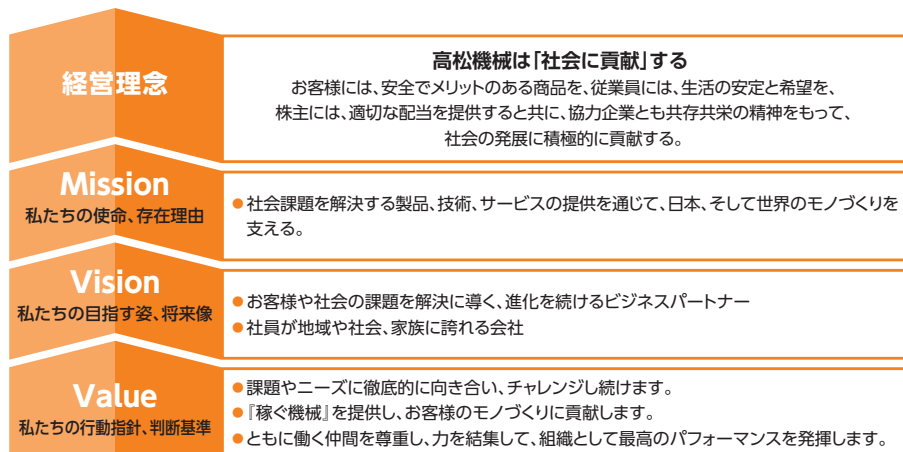
長期ビジョン、中期計画2027の詳細は、
当社ホームページでも紹介しています。

<https://www.takamaz.co.jp/ir/management-plan/>



ミッション・ビジョン・バリュー (MVV)

MVV策定にあたっては、社内での意見交換を重ね、これまでの当社の発展の歴史や価値観、DNAなどの中から、未来に羽ばたくために掲げたいことを明文化する形で進めました。その結果、従来から掲げてきた「高松機械は『社会に貢献』する」という経営理念は継承しつつ、社員と会社が共通のゴールに向かい、ともに成長できるTAKAMAZを目指すべく、新たな指針となるMVVが誕生しました。



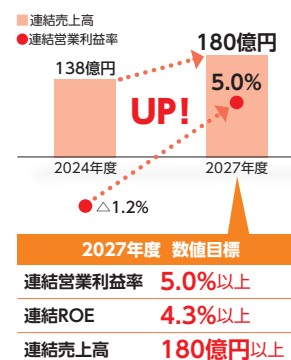
長期ビジョン

今後少子化が進み、労働人口の減少が懸念される中で、生産における自動化や、工程集約がますます求められていきます。当社は国内外に向けてそのような社会課題解決に向けた機械の開発を積極的に進めていきます。対象は主軸となる自動車業界向けに加え、その他の市場に向けた製品、さらに付加価値として環境に配慮した製品の開発やサービスの追求も取り組んでいきます。

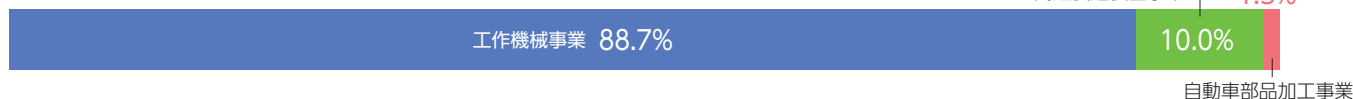


中期計画2027

長期ビジョンの実現に向け、まずは「経営基盤の強化」と「成長戦略の実行」による「収益性の改善」が課題となります。当社は経営基盤強化に向けての短期課題を6つに分別し、それぞれの課題に対して関係部門・部署が立てた施策を、定められた期間において確実に実行していきます。そしてそれらの取り組みが、中長期的な4つの課題の解決につながっていき、最終的に3年後の数値目標の達成を実現させます。



第64期 売上高構成比



工作機械事業

売上高 **12,327** 百万円

(前年同期比 2.3%減)

営業利益 **△200** 百万円

(前年同期は △414百万円)



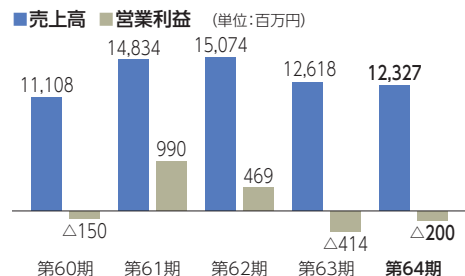
営業面では、東京、アメリカ、ドイツ、タイなどで開催された主要展示会への出展や、海外子会社でのプライベートショー開催等によって、新機種をはじめとした製品群のPR活動に注力してきました。また、ユーザーニーズを把握し、的確な提案と迅速な対応で顧客満足を追求することで、新規開拓につなげてきました。

地域別の売上高は、国内向けが減少した一方で、アジア向けを中心に海外向けが増加した結果、内需が74億1百万円(前年同期比13.9%減)、外需が49億26百万円(同22.3%増)、外需比率が40.0%(前年同期は31.9%)となりました。

製品面では、XTLシリーズ3機種を開発しました。EVシフトという市場の潮流に対応し、自動車や産業機械に

使用されるシャフト部品などをターゲットとした製品になります。

生産面では、今後の自動車関連の需要回復に備えた生産能力向上や効率的な生産の実現に努めてきました。



IT関連製造装置事業

売上高 **1,383** 百万円

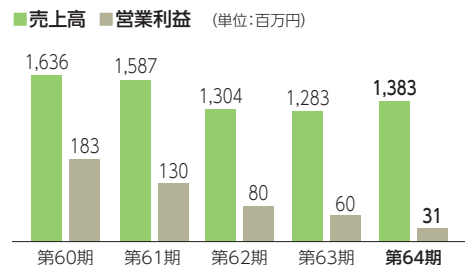
(前年同期比 7.7%増)

営業利益 **31** 百万円

(前年同期比 47.1%減)

半導体業界における生産調整が継続する中で、既存案件の受注確保や新規開拓に取り組むとともに、既存案件に対する最適な生産対応に努めてきたことなどにより、売上高が堅調に推移しました。

また、取引内容の見直しやコスト低減活動の成果が上がっているものの、製品構成比の影響、新規案件による利益圧迫などが影響し、営業利益が減少しました。



自動車部品加工事業

売上高 **182** 百万円

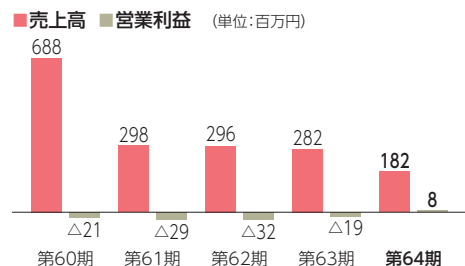
(前年同期比 35.4%減)

営業利益 **8** 百万円

(前年同期は △19百万円)

売上高が減少した主な要因は、海外自動車メーカーの販売不振が影響し、生産数量が大きく減少したためです。

一方で利益面では、不採算案件の取引を停止したこと、取引条件の交渉を行ったことなど、採算性改善の取り組みが奏功し、売上高が減少したものの、黒字化しました。

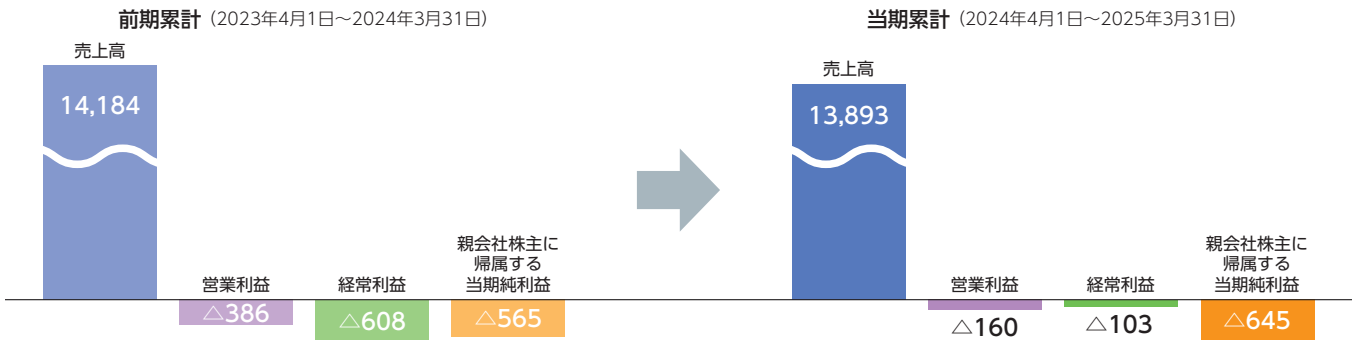


(注) 第61期より、「収益認識会計基準」等の適用により、売上高が減少していますが、利益に対する影響はありません。

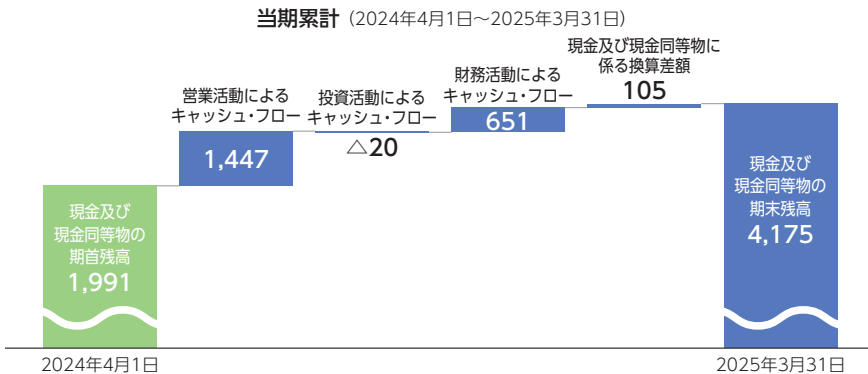
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



財務情報のご案内

詳細な財務情報は、当社IRサイトよりご覧いただけます。



IR・投資家
向け情報
Click!



<https://www.takamaz.co.jp/ir/>

会社概要

商 号	高松機械工業株式会社
英 文 商 号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設 立	1961年7月
資 本 金	18億3,539万円
本 社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従 業 員 数	連結:547名 単体:493名
事 業 内 容	● CNC旋盤等の製造、販売及びサービス・メンテナンス ● 部品、コレットチャック等の製造、販売 ● IT関連製造装置の製造 ● 自動車部品の加工 ● 資源ごみAI自動選別機の製造
ホームページアドレス	https://www.takamaz.co.jp

役員

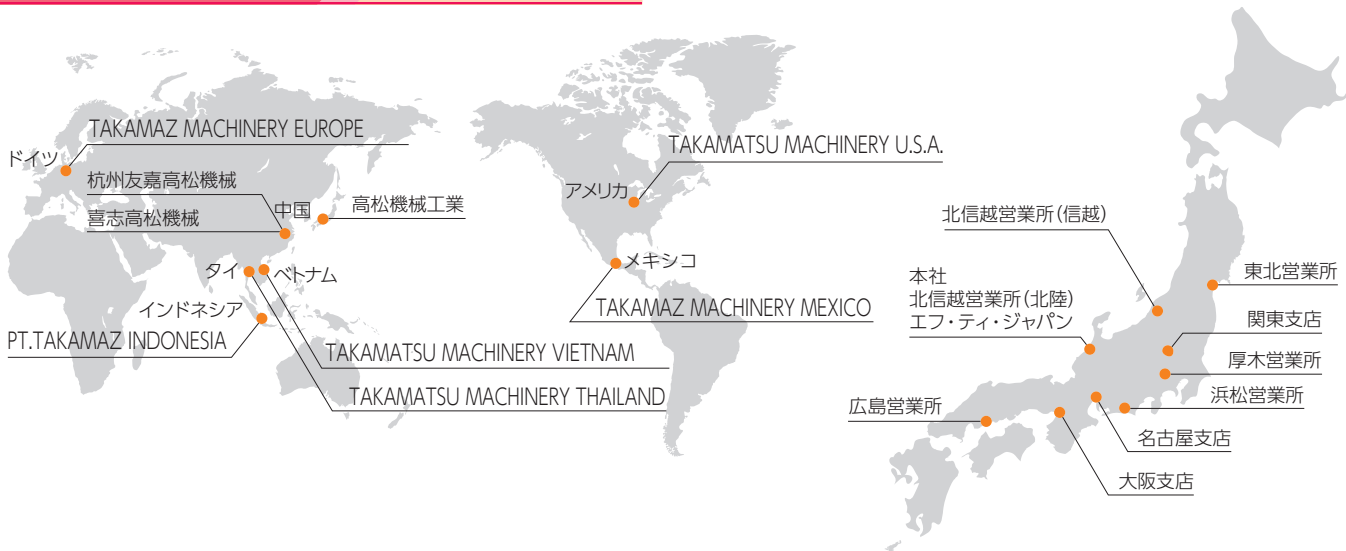
代表取締役会長	高 松 喜 与 志
代表取締役社長	高 松 宗 一 郎
専 務 取 締 役	徳 野 穰
常 務 取 締 役	磯 部 稔
常 務 取 締 役	四 十 万 尚
取締役（社外）	中 西 祐 一
取締役（社外）	池 元 こ と み
取締役（社外）	高 田 英 美
常 勤 監 査 役	村 田 俊 哉
監査役（社外）	高 井 和 男
監査役（社外）	寺 井 尚 孝

執行役員

(2025年4月1日現在)

上 席 執 行 役 員	唐 木 英 幹
上 席 執 行 役 員	梅 田 勝
執 行 役 員	山 野 真
執 行 役 員	鎭 木 一 弘
執 行 役 員	木 ノ 内 雅 文

ネットワークとサービス体制



株式の状況

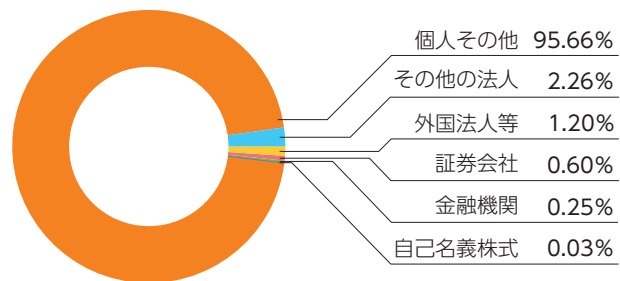
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	3,181 名

大株主

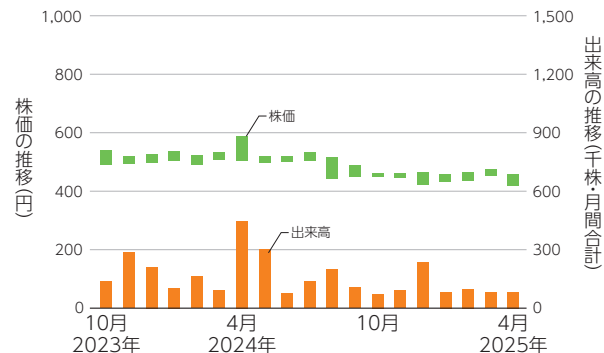
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	1,176	10.93
株式会社タカマツ	957	8.89
北国総合リース株式会社	433	4.02
株式会社北國銀行	408	3.79
日本生命保険相互会社	384	3.57
株式会社朝日電機製作所	361	3.36
明治安田生命保険相互会社	360	3.34
高松機械工業社員持株会	336	3.13
高松 明毅	328	3.05
三井住友海上火災保険株式会社	237	2.21

(注) 持株比率は自己株式(249,539株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



株価・出来高の推移

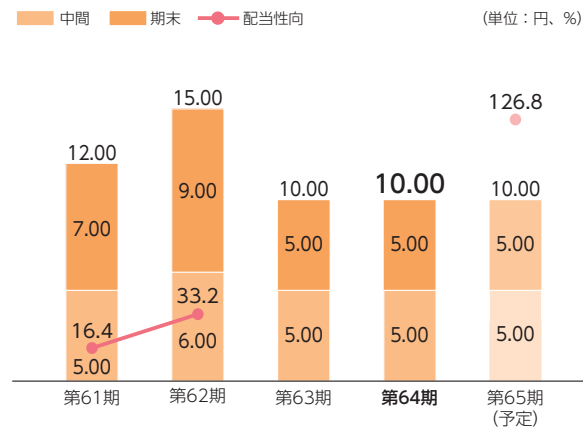


配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持していく方針です。

中期計画2027(2025年度～2027年度)においては、1株当たりの年間配当額の下限を10円とし、成長に必要な内部留保を行いつつも業績回復に伴い利益還元を増加させ、連結配当性向は40%程度を目標とします。

1株当たり配当額



※第63期及び第64期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため配当性向を表示しておりません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日
(1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410(直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

アンケートご協力をお願い 〈单元株主の皆様へ〉

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきますため、WEBアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。所要時間は約5分です。

アクセス方法

下記の方法でアクセスいただき、表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。



スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケートサイトへアクセスいただけます。

締切 2025年9月30日

抽選で200名様に、
QUOカード500円分を
進呈いたします。



表紙のご紹介 白山・北弥陀ヶ原「ハクサンコザクラ」



石川の名峰・白山の登山口である別当出合から4～5時間登った先に、高山植物であるハクサンコザクラを見ることができます。見ごろは7月～8月。サクラソウ科サクラソウ属の多年草で、白山で初めて見つかったことからこの名前がつきました。登山の準備は必要ですが、素敵な景色を目にすることができるかもしれません。

その他、石川県の旅情報はほっと石川旅ネットをご覧ください。

<https://www.hot-ishikawa.jp/>